

第6回農業女子プロジェクト推進会議
農業女子メンバープロフィール



平成29年11月15日

農業女子プロジェクト事務局

(農林水産省 経営局 就農・女性課)



キャッチフレーズ

大切な人に贈りたい果物を丁寧につくる

長沼 由紀(ながぬま ゆき)

山形県上山市 / 四季の果実 長沼果樹園

さくらんぼ、プルーン、西洋梨、りんご、ブルーベリー、キューイフルーツ

農業とのこれまで


会計事務所に勤務の後 果樹農家さんで半年間研修、その後後継者として就農しました。個人のお客様向けにDMで案内、産地直送のご贈答品を中心に発送の他、デパート等に納品しています。

農業とのこれから

個人のお客様を大事に、お客様にとっての第二のふる里とさせていただけるような果樹園を目指します。

農業女子PJへの期待

新しいプロジェクトもとても気になります 自身の向上のためにも 参画企業様への率直な意見交換など お互いの為になれるような 交流が出来たらいいなと考えております 農業女子プロジェクトの活動を通して より良い農業経営者として向上できるよう 頑張りたいと考えております

	<p>キャッチフレーズ</p> <p>都市近郊の女性視点の農産物を生産</p> <p>高山 真里子(たかやま まりこ)</p> <p>宮城県仙台市／マリズファーム</p> <p>米、野菜(一般的な野菜の他、希少野菜、伝統野菜、西洋野菜など年間約80種類)</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>会社員(半導体の設計・開発)として、約10年勤務後、実家の農業を継承。都市近郊、女性の視点を生かした農産物の生産、加工、商品の開発、販売を行っています。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>農家のイメージを変えていきたい。農業の楽しさ、食の大切さ、文化を認知し、継承したい。それぞれの規模やスタイルに応じた農業経営があることを情報発信して、農業の活性化を行いたい。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>さらに、多くの他産業との連携や、異分野との提携により、農業に広がりを持たせたい。また、これからの担い手が農業をしてみたい、農業を仕事として志す人々が増えるような活動をしていきたい。周囲の人々が楽しく、幸せになるような農業を志したい。</p>



キャッチフレーズ

蒟蒻でイノベーション！めざせ、世界一の蒟蒻屋！

遠藤 春奈(えんどう はるな)

群馬県沼田市 / えんどうず & こんにやく工房 迦しよう

こんにやく芋

農業とのこれまで


結婚出産を機に、東京から夫の故郷沼田市へ移住。虫さんや鳥さんに囲まれてのびのび稼いだーい！という、甘い動機で農家道へ。ビギナーズラックで数年過ごせたものの、浅はかなアホ夫婦に厳しい洗礼が…台風の襲来である。無惨な姿の畑を目の当たりし、それが返って私たちに火をつけた。12年経ち、6次産業化の実現、社員の雇用、海外進出、圃場面積も大規模農家と言える程にまで成長！やるかやらないか、諦めるか諦めないか、結局そこが重要なのだ。


農業とのこれから


地方の一個人農家がグローバルに活動し、成長していく姿を発信し、日本中の農家やそうでない人にも、世界を意識して生きて行く事がスタンダードな考え方になるよう牽引して行きたいです。日本の食の未来を救う力になればと思います。


農業女子PJへの期待

昔は、農家の女性は仕事や家事に追われ、孤独に闘っていたと聞きます。しかし今は幸せな事に、こうして日本全国規模で農業女子が繋がれました。様々なイベントや企画を通じ互いにブラッシュアップをはかり、農業を楽しみしっかり稼ぐ、女性がキラキラと輝く農業こそが今後日本の食を支える大きなファクターであると考えます。輝く農業女子をもっともっとアピールして行き、肉体労働だけのイメージを覆し、様々な人材が集まる様になる事を期待しています。

	<p>キャッチフレーズ</p> <p>おひさまのような葡萄を作ってます</p> <p>上原 美奈(うえはら みな)</p> <p>山梨県韮崎市／おひさまぶどお</p> <p>葡萄・桃</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>普通のサラリーマンの家に生まれましたが、周囲は葡萄農家の家ばかり。子供の頃から葡萄が大好きで友達のおうちがうらやましく思っていました。農家に憧れはありつつも、まさかなれるとは思わずにいましたが、職業訓練をきっかけに研修を3年受け、2015年1月に独立して就農開始しました。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>もう少し圃場を増やし、作れる品種を増やしていきたいです。4人の子供たちに農業で食べていける！ってところを見せられるように頑張りたいです。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>企業、農家と共にこれからも様々な商品を開発してほしいです。農業女子プロジェクトのおかげで日本中の農業女子と交流できるのも楽しみにしています。</p>

	<p>キャッチフレーズ</p> <p>あなたに元気を！～ハーブの香りとともに～</p> <p>金丸 晴美(かねまる はるみ)</p> <p>富山県小矢部市／ハーブガーデン平田</p> <p>ハーブ（ハーブティーなどの加工品 ハーブティー教室、アレンジメントやクラフト教室、ハーブ畑の見学など）</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>高岡短大産業デザイン科卒業後、東京で9年働いた後、宮崎県の山村に1年間ハーブ園でボランティア、高岡へUターン後、園芸高校の専攻科に入学、H16年度卒業。 亡くなった祖母の田んぼを畑に変え、少しずつハーブに取り組み、9年前に畑を拡大し本格的にハーブの生産をスタート。 NPO法人幼児教育施設の理事として、園芸体験を教育の場で実施。幼稚園や小学校などでハーブの授業も行っている。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>私の夢「たくさんの人をハーブで元気にする」ために目標は二つ。 ◆ハーブの花や香りは、日々疲れた心と体を元気にしてくれます。薬草ガーデンが庭にあれば自分も家族も元気になります！昔から民間薬としての日本のハーブの文化も受け継ぎ、西洋ハーブも野菜と一緒に育つような「薬草ガーデン」を家庭や地域にもっと広げていきたいと考えています。 ◆情操教育には、五感で感じる自然体験が必要です。幼児期から土に触れ植物を育てる園芸体験が、教育の場でもっと増えることを願っています。…夢実現のために、ハーブが身近にある生活の提案をこれからもいろいろな場でしていきたいと思っています。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>◇私のような地方のいち農家が、PJに参加しなければお会いすることもできない企業さんとの様々な企画に参加してきました。その中でいろいろな発見や喜びがあり、農業にも自分の生き方にもよい影響をいただきました。そんな素敵な機会をもっとたくさんの人に体験してもらいたいと思います。 ◇「はぐくみ」では、高校や大学対象ですが、保育園や小中学校からもっと楽しく頑張る農業女子との接点が増えるとよいと思います。子どもがなりたい職業ベスト10に農業が入るとよいですね。自分たちの食を支える地域の農家を守る消費者になってもらいたいとも思います。もっともっと教育の場に農家が出ていく仕組み作りも期待します。</p>

	<p>キャッチフレーズ</p>
	<p>ちいさな養蜂場、ちいさな畑から、大きな感動届けます！！</p>
	<p>榎本 佐和子(えのもと さわこ)</p>
	<p>愛知県豊川市／榎本はちみつベリーファーム</p>
	<p>ブルーベリー、ブラックベリー、ラズベリー 養蜂(はちみつ) 小麦、サツマイモ (ほしいも等)</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>農業が大好きだったので、趣味の家庭菜園から、本気の専業農家へなりたいと新規就農しました。 ちいさな養蜂場ではちみつを採り、ベリー園で果樹を栽培し、畑で野菜をつくり、シンプルでカラダが喜ぶ「食べ物」をつくっています。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>新規就農でも、女性でも、一人前の仕事と成果が出るように努力しています。 女性としての視点や、こだわりを大切にして、子どもや家族に食べさせたい、美味しくて安心なものを作っていきたいです。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>女性目線で使いやすいもの、便利なものは、子どもや年配の方にも優しい・便利なものだと思います。全国の農業女子の声がきける農業女子プロジェクトは、今後の農業に関わるすべての人、モノを見直すきっかけになると思います。</p>

	<p>キャッチフレーズ</p> <p>デザインで農業をHAPPYに。</p> <p>松岡 みずほ(まつおか みずほ)</p> <p>奈良県天理市／まっちゃんのお花+veg</p> <p>花壇苗・多肉植物・直売用野菜</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>サラリーマンをしながら、休日は農業を手伝い、イベントにも積極的に参加して「農家が伝える農産物の魅力」を武器にがんばっていましたが、2足のわらじに体力的、精神的に限界。目標であった「40歳に就農！！」を実行に移し就農。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>「デザインで農業をHAPPYに。またお客様とHAPPYを共感したい。」が私の目指すところ。農家が幸せになるためには儲けが必要。そのためには農産物を買って下さるお客様も幸せでなければいけない。共に共感し合えるような農産物の組み合わせ企画や、楽しくなるような、手に取ってみたいくなるような売り方・食べ方・飾り方の提案をしていきたい。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>農業の規模に関係なく、発言できる事に感謝してます。 農業と言う職業に理解を示し、一緒に取り組んで下さる企業様の姿勢にも学ぶ点が多く、刺激を受けています。農業女子の知恵や行動が多くの方に共感され、農業だから特別では無い、当たり前前の環境になる事を願います。</p> <p>技術面での学びにつながるプロジェクトには、特に期待します。 農業は良品を生産出来てこそだと思うから。</p>



キャッチフレーズ

めざせ循環！やっぱり牛がすき～

作田 妙江(さくた たえ)

山口県光市／タカムラ農場

水稻、小麦(小麦粉)

農業とのこれまで


北海道で、畜産の仕事をしておりましたが、山口に戻り、出産。その後畜産の法人にも勤めましたが、北海道のような仕事には従事出来ませんでした。
北海道へ戻るか、自分の牧場をもつ事も考え悩んでいる時に主人と出会い、現在水稻を7町耕作しております。
しかし、和牛繁殖の夢はあきらめておりません。いつか自分たちの牧場を持ちたいと思っています。

農業とのこれから

実際、現在の耕作面積の水稻だけでは生活が難しく、オフシーズンに、それぞれ外貨を稼ぐためアルバイトに行きます。早く自分たちの牧場を立ち上げて、オフシーズンも安定した収入を得られるようになりたいと頑張っています。循環型農業を行って、子ども達の食育の場にするのが今の主人との目標です。

農業女子PJへの期待

PJに参加し3年目になります。いろいろな参画企業や全国の農女との交流でたくさんの勇気をいただき少しずつですが未来に光をみつけつつあります。
既得権や大規模農家、JAありきの農業行政の在り方や、補助金の交付基準に疑問と行政への不信感しかありませんでしたが、現在の農政局の方々には絶大な信用と期待を抱いています。
乱立した高齢化農家の法人が形だけのものになりつつあるなか、販路、収益をしっかりと確保した上での規模拡大と次世代への農業の継承が農業女子プロジェクトへの期待と、限界集落になりつつある中山間地の生き残りの道ではないかと思っております。

	<p>キャッチフレーズ</p> <p>佐賀発レンコンパワーを全国に！</p> <p>黒木 貴子(くろき たかこ)</p> <p>佐賀県白石町／黒木農園</p> <p>れんこん・玉ねぎ・さがびより米 (玉ねぎドレッシング・れんこんパウダー・れんこん酢・れんこん粕漬)</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>結婚と同時に農業を始めました。 夫・子供たちと一緒に楽しく生産、そして加工品販売にも取り組んでいます。 レンコンのレシピ開発も行いHPなどで紹介しています。</p>
<p>農業とのこれから</p>	<p>佐賀のれんこんを食べて頂くこと・知っていただくことをどんどんしたいです。産地が違るとれんこんやたまねぎの味も違うということ。市場への販売と共に、直売や家族で収穫体験など、お客様の声を色々と聞けることにもチャレンジを拡げていきたいです。</p>
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>生產品目はそれぞれ違っていても農業に対する思いは同じだと思います。 女性たちの意見などを伝える場所としてプロジェクトには期待しています。 私の中では とても楽しんで勉強会などにも参加できているので、これを機に私もいい意味で町や県などを巻き込んで、農業の楽しさや後継者を増やしていきたいと考えています。 ところ変わればいろんな悩みや思いなどもあるので、全都道府県の意見を聞けるイベントや講演会などをやってほしいなと願っています。</p>